

ドッコイ

JR東海はちがう・ゾッ

Z 2 3

2 0 0 9 . 6 . 9

J R 東海 労 東 二 運 分 会

アメリカの旅行会社の調べによると日本は、有給休暇の消化率がぶっちぎり 最下位だそうだ。そして祝日を月曜日にずらすなどして休日数は世界一らしい。

ところで、JR東海は年間休日が120日で、3日に1日は休んでいる計算になる。その上に年休を20日（各社員の条件によって日数が違う）も消化されてはタマらない、効率が悪すぎるというのが会社の偽らざる本音だろう。

しかし、年休や休日は会社の勝手な都合で変えられるのか。労働協約や労基法、そして就業規則は何のためにあるんだ？ 法律に基づき、且つ労使で確認しているのに「流れる」というのは法に触れることなのだ。会社は、年休の消化率はとても良い、年間16日（幹鉄事・2月末）となっている、ドッコイJR東海はちがうゾッということか？

取得率の高い欧米はともかく日本は、平均年休数が14.9日だが、取得数は7.9日と半分になっている。これに比べて「16日」はぶっちぎり 上位なのだろう。しかし、この「16日」のために何十日分もの申し込みをしている。平均とは言え「4日」は流れていることになる。

組合員のみなさん！ ユニオン・国労組合員のみなさん！

わたしたち東海労が05年12月に、一方的な休日出勤に反対してストライキをした時、ユニオン分会から東海労組合員の自宅にハガキが届けられた。ハガキには「年間8日間程度で20～26万円になる。家族の方はご存じですか」と休日出勤を奨励していた。そして会社も最近、職場で同じようなことを言っている。会社は一貫して解消のスタンスに変わりはないと言いながら、今年も「5泊行路」、すなわち10日間は休日出勤を強要すると宣言している。

10日間の他にも休日呼び出しがある。これでは「16日」というのは言い逃れでありごまかしでしかない。会社は、年休が付与できない時は使用者の権利・「時季変更権」による、と断言している。しかし、年度末には「変更」が「消滅」、「流れる」と読み替えられている。許さん！

「紙頼み わたしも十六 手とあわせ」 C D 頑 爺